

令和5年度 「地域別市民意見交換会～ご意見に対する議会の考え～」

□総務環境委員会

テーマ	市民からの主なご意見	現時点での議会の考え方
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・避難指示が出たときに、いかに避難して被災者を出さないかが重要だと考える。指定避難所で数日間避難生活ができるよう食料などの備蓄品をしっかりと整えていただきたい。また、指定避難所の収容人数や設備（バリアフリートイレの有無など）、ペット同伴の可否、防災備蓄品があるかなど情報を分かりやすく周知してほしい。 ・防災行政無線が聞こえない地区があり、スピーカーの増設等、設置場所を工夫してほしい。 ・市は地区ごとに防災計画を作っているが、いろんな地域の声を反映してほしい。東小学校防災クラブの活動で、子どもたちが地域の防災マップを作成した。校区内の危険地域を市役所に直接意見することを希望している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所における過酷な状況をどれだけでも回避できるような環境整備は重要です。災害備蓄品を指定避難所に配備していますが、被災等の状況によっては十分でないことも想定されます。備蓄品等の不足のことについては、過剰ストックの課題も踏まえて災害等の支援物資の供給体制の充実に努めるよう調査研究をしてまいります。また、避難所運営マニュアルが整備されてはいますが、市民に十分伝わっているとは言えないため、避難所に関する情報の充実に図るよう調査研究をしてまいります。 ・防災行政無線については、多くの人が聞きやすい工夫に努める必要はあると考えています。ただ、屋外に設置したスピーカーによる情報伝達には限界もあると捉えています。防災行政無線、防災ラジオ、メール、SNS、ホームページなど様々な媒体からの情報発信をさらに調査してまいります。 ・市は地区防災計画の作成を促進しており、それぞれの地区における危険箇所等が様々な世代から意見を出していただくことは、議会としても重要と考えています。この事案に限らず様々な団体等からの積極的な意見を届けてもらうよう進捗を進めてまいります。
地域振興・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・Aコープがいよいよ閉店し、買い物弱者の増加が予想される。日常の買い物先を確保することはインフラ整備の一環で、行政の仕事ではないかと思っている。 ・町内会やまちづくり協議会等の役員等のなり手が減っており、機能不全を懸念している。また、協働の担い手に社会教育主事など資格を持つ専門職職員を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興や集落維持の視点からも買い物弱者への対策は重要です。移動販売車、公共交通の施策やまちづくり協議会との連携による地域活動への支援など、地域の実情を把握し課題解決に向け議論を深めてまいります。 ・町内会等の役員の担い手不足は課題と捉えており、負担軽減や回覧物、募金、情報のとりまとめなど、状況を把握し、社会教育主事などの専門職員の補充についても含め、複雑かつ多様化する地域課題を踏まえ議論を深めてまいります。
少子化	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で少子化は深刻となっている。若い世代が高山に残りたいと思えるまちづくりをどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業やコミュニティを維持し、魅力あるまちを形成していくためには、若い世代が高山に残る、また、戻ってくるようなまちにしなければなりません。良好な労働環境の整備、子育て支援策の充実、利便性の高いインフラ整備など総合的にまちづくりをしていく必要があります。現在、高山市第九次総合計画策定の議論において検討を重ねています。人口は減少しますが、生活をいかに充実させていくか、縮充の考え方は必要と考え、高山市の強み（自然、歴史、文化、景観など）を活用した施策議論を進めてまいります。

□福祉文教委員会

テーマ	市民からの主なご意見	現時点での議会の考え方
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・加入・非加入者間の不公平や、市の都合よい町内会利用など、町内会の存在意義が問われている。市と市民が一對一の関係で地域住環境の保全を行うべきでないか。 ・まち協への補助金額について、10年前から補助金の額が変わっていない。近年特に事務局の負担が増えており、また昨今の物価高もあるのに対し、報酬がなかなか増やせない。また街灯の電気代も上がってきている。ふるさと納税の用途のひとつとして、今一度補助金額の見直しをお願いしたい。 ・防災関連の備品や事業に関して、町内会で予算含めて準備してくださいといった流れになっているが、町内会に未加入の方も恩恵を受けるのはおかしいのでは。地域防災は重要だと認識しているが、そうであれば行政が予算含めて責任をとるのが筋だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「人口減少・少子高齢化時代にあつて、町内会は住民一人一人にとり最も重要なコミュニティであり、まちづくりの基盤であります。ただし、このままで良いのかは考え直す必要があります。税制設置などで縛るのではなく、誰もが参加しやすい持続可能な町内会とする努力を続けます。現在、組織や役員さんの負担を軽減する工夫を進めています。」と市は述べています。町内会の意義は議会も同様の考えではありませんが、理想だけでなく実効性のある方策を早急に講じることを要望してまいります。 ・同様の意見は他の地区からも伺っています。まち協への補助金については使途も含めて課題が指摘されています。見直しの必要性については検討課題として認識しています。 ・地域における防災に関してはまち協に大きく支えられていることは認識しています。ご指摘のような防災に関する予算については検討する必要があると考えています。
高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物・外出支援を充実させてほしい。支所地域のJAのAコープの閉鎖、運転免許返納後の支援の必要性、社協の外出支援のような手厚い支援への便乗の検討、移動販売車の支援の必要性がある。 ・必要な情報を得たい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出・買い物支援の希望が高まっていることから、公共交通機関の整備や、移動販売支援等の必要性を感じています。他の自治体事例や法の規制等の調査・研究を進め、充実に向けて取り組んでまいります。 ・必要な情報が皆さんの手に届くよう、行政と一緒に進めてまいります。
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の環境整備と卒業後の就職等の対策が必要であると考えます。 ・母子家庭に入浴券を配布できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者就労支援等について、課題が山積しています。現在策定中の「障がい者福祉総合計画」に盛り込むべき提言をしてまいります。 ・現時点では配布予定はありませんが、母子手当受給者（生活保護）の状況や他自治体を調査してまいります。
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂をもっと増やせないか。 ・朝から夜まで未満児を園に託して働かなければならない子育て世代の負担軽減が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在7か所で実施、またフードバンクの活動団体もあります。行政も補助金支給もしていますが、スタッフ・場所の確保に課題があります。現状を調査し提言してまいります。 ・現在策定中「子どもにやさしいまちづくり計画」の内容を精査し提言をしてまいります。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・庄川のような義務教育学校や小中一貫校の議論は進んでいるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議論を本格化させるためには、地域が一体となつての声が必要です。今後、児童生徒数が減少することもあることから、議論することも必要と考えます。

医療	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科不足や医師の高齢化、支所地域の医療機関の脆弱性、医療のDX化の進捗、高山赤十字病院と久美愛厚生病院の役割分担についてどう考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師が手薄な科、これから手薄になると予想される科を把握し、戦略的な医師確保の計画が必要です。支所地域の医療アクセスについてもDX化やタスクシフトを進める中で研究・検討が必要です。高山赤十字病院と久美愛厚生病院、高山市の3者協定を有効に活かし、より安心安全な地域医療の構築を進められるよう議論してまいります。
文化芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動芸術支援補助金等の補助率と補助制度の運用について改善してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の制度設計自体が一律のため、補助の目的や実情に合わせた運用など今後調査研究してまいります。
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・西スポーツ会館が近年の暑さに対応できず、とてもスポーツができる環境ではない。早期の熱中症対策をお願いしたい。 ・高地トレーニングエリア(NCT)は素晴らしい施設なので、もっと積極的なPRで利用促進をはかってもらいたい。道路やトイレの整備も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西スポーツ会館だけではなく、冷房設備の設置が必要な施設への対応は、高山市体育協会より要望も届いておりますので、早期の対策を求めてまいります。 ・NCTは高根地区の宝でもあります。各支所地域の優れた施設の有効利用の在り方は検討が必要な時期に来ていると考えております。
地域振興	<ul style="list-style-type: none"> ・各支所の公共施設の有効利用やPR今後の活用方法など、未利用施設の活用方法や付帯施設(トイレ等)の整備をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第九次総合計画において、各支所の産業振興や施設活用等の検討もされていきます。今後の計画について、検討してまいります。

□産業建設委員会

テーマ	市民からの主なご意見	現時点での議会の考え方
空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えており、空き家対策をしっかりとしてほしい。また、空き家の活用や移住者への支援をもっと充実するなど、空き家が動くような政策を期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、令和5年度に空き家の調査を行い、令和6年度に空き家等対策計画の更新を予定しています。議会としては、議長が全国市議会議長会の特別委員会委員として活動し、国への空き家・空き地対策の更なる強化、地方自治体に対する空き家除却や利活用の支援、地方自治体に対する所有者・市民の問題意識の醸成と意識啓発、都道府県の役割強化などを国に提言してまいります。
市営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の規則について、より子育て世代が入居しやすい形に変更するのはどうか。 ・市営住宅の入居実態として、かつては子供が多かったが、今は独居老人や生活困窮者が増えており、町内会活動が困難にならないような入居基準を考えてほしい。 ・一般の住宅も空き家が増えており、高齢者も増えてサービス付き高齢者住宅は足りない現状がある。「福祉住宅」という考え方が大事ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、令和6年度中の市営住宅の整備計画策定に向けて、地域の状況に応じた配置の見直しや入居が少ない施設の入居要件の見直しを検討しています。市営住宅のニーズや入居状況は地域によっても異なり、適正な配置や入居要件の見直しなどを市に働きかけてまいります。
労働・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が高山を出て帰ってこない理由の一つは、働く場がないことが大きい。企業誘致も行い、高山の給与水準も挙げてほしい。 ・若い世代が働きたいと思える仕事の発掘、都市との賃金格差等の問題を解決しない限り、若い世代は地域には戻ってこない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給与を上げられる仕組みを行政としてどう働きかけられるか、また、働く環境(子育て支援、福祉介護等)をどう整備していくのかなど、総合的に働きかけていかなければならないと考えます。企業誘致も給与アップ問題も重要であり、第九次総合計画策定に向けて議会でも検討しています。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、独居の方が増え、免許返納で買い物もできなくなる中で、移動支援は最優先に考えるべき問題であり、まち協と市が一体となって考えていかなければならない。 ・地域によって移動支援の条件は違うと思う。それぞれの地域にあった対策も必要なので、市全体で考えることも必要だが、地域にあった対策も検討していただきたい。 ・ライドシェアについて、高山市はどう考えているのか。試験的に、高山市でも実証実験などを進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、市民アンケートなども踏まえ、令和6年度に地域公共交通の計画を策定する予定です。幹線バスや市の自主運行バスなどが連携して地域の移動確保を図る必要があると考えており、のらマイカーの運行見直しや改善も含めて、公共交通の利便性向上について市に働きかけてまいります。 ・国で様々な議論がされている中、議会でもライドシェアの調査を始めています。高山市では国の動向を注視しており、議会としても重要施策として調査研究してまいります。